



2026～2027

久留米北ロータリークラブ[®]
題字 故石井光次郎先生



哲学堂公園（1935 年頃制作）

画家 井手無一

提供 井手森生

伯父無一が東京在住時に親戚の金子家に居候しており
近くにあった哲学堂公園を描いた作品です。

遠くに見える煙突は感光材料の製造を行うオリエンタル
写真工業の工場です。

哲学堂公園は、哲学者で教育者の井上円了が
ソクラテス、カント、孔子、釈迦を祀った四聖堂を哲学
堂と称したもので井上円了の死後東京都に寄贈されま
した。

《クラブ会報委員長：井手森生》

「四つのテスト」

（言行はこれに照らしてから）

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

CREATE
LASTING
IMPACT

持続可能な
インパクトを
生み出そう

第2278回例会

基本的教育と識字率向上月間

ロータリーの友月間

令和8年9月10日(木)

12:00 会食

12:30 開会点鐘

1. ロータリーソング「2700のマーチ」

2. 四つのテスト唱和

3. 会長あいさつ

4. ゲスト並びにビジター紹介

5. 曲紹介～演奏～

6. S.A.A.報告

7. 出席報告

8. 委員会報告

9. 幹事報告

10. ラジオ体操

11. 新会員卓話

「自己紹介」

松永由紀子君

13:30 閉会点鐘

幹事報告

9月のロータリーレート 1ドル160円

1. 次週9月17日(木)の例会は、17日(木)・18日(金)の親睦旅行に変更になっております。萃香園でのお昼の例会はありませんのでご注意ください。
2. 10月8日(木)例会は、創立49周年記念例会(夜間例会)となっております。本日より出欠表を回覧いたしますのでご記入お願い致します。【日時】10月8日(木)18:30開会点鐘 於:萃香園 鶴の間 【会費】5,000 円

委員会報告

*インターアクトクラブ

☆9月5日(土)10:00~11:40 柳川ハリウッド学園において、柳川高校インターアクトクラブ創立60周年事業及び合同例会が開催されました。当クラブより小池幹事、牛島青少年奉仕委員長、久留米信愛学院顧問教師、生徒7名が参加いたしました。



近隣 RC 例会案内

※例会当日に参加出来なかった場合は MU を宜しくお願い致します。

MU 受付 11 時半~12 時半(甘木 RC12 時~13 時 八女 RC10 時~15 時)

(MU 可能会場)

久留米	9月11日(金)	会員卓話 井手英人君	—
	9月18日(金)	創立記念例会&月見例会	萃香園
久留米東	9月14日(月)	ゲスト卓話 久留米宗社 日吉神社禰 久富貴文様	—
	9月21日(月)	敬老の日 休会	—
久留米中央	9月15日(火)	ゲスト卓話 映画監督 瀬木直樹様	—
	9月22日(火)	国民の休日 休会	—
鳥 栖	9月16日(水)	通常例会	—
八 女	9月15日(火)	通常例会	—
甘 木	9月15日(火)	通常例会	—
小 郡	9月14日(月)	オープン例会	ANAホリデイ
浮 羽	9月16日(水)	通常例会	—
筑 後	9月17日(木)	通常例会	—
インターアクト	未定		—

出席報告

8月27(木)

例会予告

在籍	出席免除	出席義務者	ホームクラブ出席	メイクアップ	出席免除者出席	出席	欠席	出席率(%)	ホームクラブ出席(%)
74	2	72	56	10	2	68	6	94.4	77.8

*9月17日(木) 9月17日(木)・18日(金)
親睦旅行に変更
*9月24日(木) 定款により休会

事務局不在のお知らせ
9月11日(金)

緊急 小池幹事へご連絡お願い致します。

前回の例会報告

☆「公式訪問卓話」 国際ロータリー第2700地区
第6グループガバナー戸嶋和夫様

☆9月3日(木) 12時半開会点鐘 於:萃香園

・ゲスト 4名 戸嶋和夫ガバナー 大石昌彦ガバナー補佐
執行健三様地区副幹事 重松行生地区副幹事

・ビジター2名 岩橋弘幸君・山口英明君(久留米東RC)



ポール・ハリス・ソサエティバッジ贈呈

◇メジャードナー
宮原通義君
◇PHS+8
堀川公平君
◇PHS+7
川崎和子君



☆花蓮港区RC
徐 實馨さんが
八代RC訪問の
為、来日され
ました。



ロータリーの友地区代表委員 からのお願いとご報告
ロータリーの友地区代表委員 齋藤 真人(福岡南 RC)

皆さんこんにちは。今年度ロータリーの友地区代表委員を拝命しました福岡南ロータリークラブの齋藤と申します。あわせて『ガバナー月信』の編集委員長も兼ねております。何分不慣れでありますので、前任の上田委員長のような鮮やかな采配ができません。とはいえ一生懸命務めさせていただき所存にございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

ロータリアンである前にさて、皆さんはこの『ロータリーの友』をどのように読んでおられますか？この立場になったから言うわけではありませんが、『ロータリーの友』を手に取り丁寧に目を通すことは、ロータリアンとしての義務だと思っています。が、本日はそのような大上段のお話をするつもりはありません。私の亡き父は、新聞紙をまたぐだけで烈火のごとく叱る厳しい人でした。幼心に叩き込まれた父の教えは「新聞を作って下さる方に失礼だろう」というものでした。以来私は、配布されるプリントや冊子等を絶対に丸めて持たないようにして人生を歩んできました。誰かの想いが詰まった印刷物を丸めてしまうなどもってのほかだという考え方が根付いたのです。立派なお立場であるロータリアンの皆様に対して、釈迦に説法のようなお話で申し訳ありません。皆さんの手元に届く『ロータリーの友』、この一冊にどれだけ多くのスタッフの方の労力が注がれているか、想像力を大切に見ませんか？義務だから目を通すのではなく、人として、作って頂いた方への感謝の気持ちを持って大切に目を通す、その誠実さが記事の内容を心に刻み、やがて私たち自身にロータリアンとしての精神が宿っていくのだと私は信じています。ちなみに私は、友の購読を通してまだ見ぬ知らないクラブの方々との出会いに夢を膨らませています。その意味では「この人訪ねて」が大好きですね。皆さんも、自分ならではの「推し」を定めてみませんか？最後にあえて申し上げます。友の購読は義務ではありません。ロータリアンとしての大切な権利です。

《月信9月号より》